

第2学年 美術 年間指導計画

1 教科目標

主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、対象を深く見つけ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を養う。

2 評価の観点

美術への 関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を高めるために、主体的に学習に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、対象を深く見つけ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に独創的で豊かな発想をし、形や色彩などの効果を生かし、心豊かで創造的な表現の構想を練っている。	感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考えたりすることなどし、創意工夫して創造的に表している。	感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めたりしている。

3 評価基準（100点満点）

方法	観点 美術への 関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	合計
定期試験	10	10	10	10	40
作品	10	10	10	5	35
提出物・授業での状況	5	5	5	10	25
合計	25	25	25	25	100

4 使用教材

教科書「美術2・3」（開隆堂）

5 年間学習計画（計35時間）

学期	月	題材名	学習目標	時間	主な評価規準	評価方法
1	4	美術のちから	・美術の学習活動に意欲的に取り組めるようにする。	1	・これまでの学習を振り返り、美術の学習の関心を持つことができる。(関心)	提出物
	5 6 7	驚きの世界へ ★言語活動 感じたことや考えたことを発表する。	・想像力を働かせ、錯視やトリックの効果などを利用した不思議な世界を表現し、トリックアートの楽しさを味わう。	11	・錯視などの表現技法に関心を持つことができる。(関心) ・錯視などの表現技法から独自の発想をし、構想を練ることができる。(発想) ・表現意図にふさわしい技法の活用をし、工夫して描画することができる。(技能) ・表現技法の効果などを考えながら、作品のよさや面白さを味わって鑑賞することができる。(鑑賞)	作品試験
		ルネサンスの美術 ★言語活動 感じたことや考えたことをまとめる。	・ルネサンスの美術の特徴や意味を学習し、その造形のよさや美しさを味わう。	1	・ルネサンスの美術について関心を持つ。(関心) ・ルネサンスの美術について理解し、そのよさや美しさを感じ取ることができる。(鑑賞)	提出物 試験

2	9	<p>伝統の美に学ぶ</p> <p>★言語活動 感じたことや考えたことをまとめる。</p>	<p>・日本の伝統的な美術について学習し、その作品のよさや美しさを味わう。</p>	1	<p>・日本美術のよさや美しさに関心を持つことができる。(関心)</p> <p>・日本美術の特徴を理解して鑑賞することができる。(鑑賞)</p>	提出物 試験
	10	<p>奥行き表現</p> <p>★言語活動 感じたことや考えたことを発表する。</p>	<p>・絵画における遠近法や奥行き表現方法について理解する。</p>	11	<p>・遠近法や奥行き表現について関心を持つことができる。</p> <p>・奥行き表現をもとに主題を発想し、構想を練ることができる。(発想)</p> <p>・主題にふさわしい遠近法や奥行き表現方法を工夫して表現することができる。(技能)</p> <p>・奥行きや主題の表現方法や工夫を意識しながら鑑賞することができる。(鑑賞)</p>	作品 試験
	11					
	12					
		<p>江戸のデザインセンス</p> <p>★言語活動 感じたことや考えたことをまとめる。</p>	<p>・江戸時代の美術作品の造形の特徴を理解し、そのよさや美しさを味わう。</p>	1	<p>・江戸時代の美術作品の造形のよさや美しさに関心を持つことができる。(関心)</p> <p>・江戸時代の美術作品に理解を深め、その造形のよさや美しさを味わうことができる。(鑑賞)</p>	提出物 試験
3	1	<p>つくる・使う・楽しむ</p> <p>★言語活動 感じたことや考えたことを発表する。</p>	<p>・素材のよさや美しさを生かして生活の中で使用するものを制作し、そのよさを学習する。</p>	8	<p>・身近な素材を生活に生かす工芸について関心を持つことができる。(関心)</p> <p>・素材の特性をもとに発想し、そのよさを生かして作品の構想を練ることができる。(発想)</p> <p>・素材の特性を効果的に生かし、表現方法を工夫することができる。(技能)</p> <p>・工芸品の持つ素材を生かした美しさやよさを味わうことができる。(鑑賞)</p>	作品 試験
	2					
	3	<p>まとめ</p> <p>★言語活動 美術の学習を通して思ったことや感じたことをまとめる。</p>	<p>・一年間の学習を振り返りながら、学んだことや感じたことなどをまとめ、自己の生活における美術のあり方を見直す。</p>	1	<p>・一年間の学習を振り返りながら、自分が学んだことや感じたこと、習得した技能についてまとめようとするすることができる。(関心)</p>	提出物